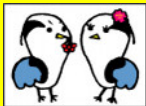


～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 3 月 23 日 (N0.72)



浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

●教育委員会発行のCSパンフレット「浦幌町小中一貫コミュニティ・スクール」、及び教育研究所編集の「浦幌町ふるさと学習総合パンフレット」が完成しました。間もなくみなさんに配布される予定です。



日高教育局から視察団来町



■3月23日(水)、北海道教育庁日高教育局をはじめ、日高町教育委員会、様似町教育委員会、十勝教育局の皆様方9名が来町され、小中一貫教育及びコミュニティ・スクール導入時の準備や課題などについて交流していかれました。

日高管内では、小中一貫連携教育の実践やCS導入の研修が活発に行われており、協議を通して多くのことを学ばせていただきました。

■主な協議事項は、次のとおりです。

- ① CS導入にあたり、教育委員会や校長会のリーダーシップの発揮が必要。CSの意義やビジョンを自らの言葉で語り、取組の必要性や成果を浸透させる研修や視察が大切です。教育局の強いリーダーシップが、各教育委員会や校長会の意識を変えていきます。
- ② 地域や学校等の状況に応じて、CS導入の在り方は変わってきます。浦幌町の場合、小中一貫教育とCSを一体的に導入し、全小中学校を一齐に指定したことが効果的でした。
- ③ 学校運営協議会の委員には、学校の力強い応援団となる人たちになっていただき、地域とともにある持続可能な学校運営の仕組みをつくっていく必要があります。
- ④ CSマイスター等の活用による研修を行い、地域が目指す子ども像や教育のビジョンを共有するための「熟議」が必要。浦幌町では、アクションプランづくり等を通して当事者意識の高揚に努めています。

○来町者の皆様方のCS導入にかける熱意に敬意を表したいと存じます。ご来町ありがとうございました。

